

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



女郎花（おみなえし）



会員増強委員会 北村(陽)副委員長、北村(仁)委員、島田委員長



夢をかたちに

2008-09年度 RI会長

李 東建

2008-09年度 会長テーマ

確かな絆で未来へ

VOL. 46 No.6 (通算No.2167)

8月6日(水)

2008 2009年度 会長 秋田 政夫 幹事 染谷 正美

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

2008年8月6日(水)例会プログラム

点鐘
君が代・ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会員卓話 会員増強月間に因んで
会員増強委員会

表紙 花の説明

女郎花(おみなえし)科。
学名 *Patrinia scabiosaefolia*
Patrinia : オミナエシ属
scabiosaefolia : マツムシソウ属

開花時期は、7/25頃~10/10頃。
黄色い清楚な花。山野に生える。
「手にとれば 袖(そで)さへ匂ふ 女郎花
この白露に 散らまく惜しも」万葉集
「女郎花 秋萩凌ぎ さを鹿の
露分け鳴かむ 高円(たかまど)の野そ」大伴家持

例会報告 Vol.46 No.5 (No.2166) 7月30日(水)晴れ (司会松村仁寿委員)

本例会での主な事項

会長挨拶 秋田政夫会長
研究会報告

ツウンバ交換学生出発前の挨拶

ビ ジ タ ー

ツウンバ交換学生と保護者

諸 報 告

親睦活動委員会 倉持功典委員長
納涼会のご案内 9月6日(土) 東京ディズニーシー

2007 - 08年度決算 別紙の通り

会計監査 草間春正会員

2007 - 2008年度、水海道ロータリークラブの終始決算について、関係諸帳簿と証拠書類に付いて監査した結果、すべて符合しており適正でありました事を報告致します。

2008 - 09年度予算 染谷正美幹事 別紙の通り

幹 事 報 告 (染谷正美幹事)

週報受理クラブ なし

例会変更クラブ 藤代RC 8月11日(月) 8月7日(木) 午後6時より グリーンパレスふじしろ

会 長 挨 拶 秋田政夫会長

こんにちは。3日前の日曜日夜につくばみらい市では民家への落雷が同時2箇所であり、火災騒ぎで大変混乱をしました。最初は縦ビカリの稲妻が続き次に横ビカリに変わり空が割れるようで、まるで打ち上げ花火のように大変激しい光景でした。

さて、本日は本年度オーストラリア、ツウンバRCへ出発される3人の交換学生さんとご家族の方々に出発前のご挨拶ということでお越しいただきまして有難うございます。もう気持ちはオーストラリアへ集中されているのではと思っています。また既に理解をしていることと思いますが出発に際し、オーストラリアの建国歴史の概要をお話しさせていただきます。

THE WEEKLY REPORT



1606年に植民地化を求めて、初めてオランダ人が赤道に近い北部に到来したのですが、植民地には不向きということで入植はしませんでした。次に、1770年にスコットランド人のジェームズ・クックが気候おだやかなシドニーに上陸し、領有権を宣言し入植しました。そしてこの東海岸をニューサウスウェールズと名付けたのです。1778年にはアメリカの独立宣言により、流刑植民地としてイギリス人の移民が始まり、初期移民1030人の内736人が犯罪者でまた、ほとんどが貧困層でありました。そして、それから50年後、1828年にはオーストラリア全土がイギリスの植民地となり、先住民のアボリジニの土地を取り上げ、反抗するものは殺害をしました。1850年にはゴールドラッシュが起こり、中国系の金鉱移民を排斥し、白豪主義へと進みました。そして、1900年にはスペイン産の羊を改良し、羊毛産業が発展し、又当時一番長期保存のきく食肉として食用に利用されました。1901年イギリスから独立をしたのですがイギリス国王への忠誠心を持ち、第1次世界大戦、第2次世界大戦ともに共同で戦い、特に第2次大戦では日本軍にシドニー港を攻撃されました。1980年には第2次大戦後ヨーロッパからの移民が減少した為に白豪主義を撤廃し、全世界から移民を受入れ、多文化主義へ移行し今日に至りました。日本の21倍の面積を持ち現在総人口12,900,000人となり、1平方km3人の人口密度です。それから、オーストラリアの首都はキャンベラですがシドニーとメルボルンの争奪戦の末、妥協策として双方の真ん中の位置に新都市、計画都市と言われる首都キャンベラが建設されました。皆さんが行かれるツウンバRCは、ブリスベーン空港から内陸へ132キロメートル離れた所にあり、高速道路を走り 約1時間30分要します。人口は95,000人で標高700メートルに位置に在り、ガーデニングで有名な花と緑の美しい町並みを有しています。広大な土地と明るい陽気な人柄に触れて、見るもの、聞くものを貪欲に吸収し、素晴らしい体験となることを期待しますと共に、さらに良き日本文化を再認識され、今後の国際理解と交流のきっかけにしてくださいようお願いし挨拶とします。

ツウンバ交換学生挨拶

8月9日に出発、8月18日帰国



それぞれ、挨拶を頂ました。

研究会報告

THE WEEKLY REPORT

職業奉仕研究会 熊谷 昇委員長



7月12日(土)開催されました研究会に参加して来ました。研修リーダーが佐藤PGで講和は職業奉仕の齋藤PGと永井PGでした。水戸東RCの木村さんが委員長です。内容は職業奉仕ですから、お仕事一生懸命頑張ってください。2分区ごとに分科会を持ちまして各クラブの職業奉仕の取り組みについて報告がされました、が報告会で終わってしまった感がありました。

クラブ奉仕研究会 島田 勝会員増強委員長



7月21日(海の日)、水戸三の丸ホテルに於いて、当クラブの北村パストガバナーが担当カウンセラーである、地区クラブ奉仕研究会が開催され、秋田会長、染谷幹事と共に出席を致しました。9時30分廣瀬ガバナーの点鐘にて開会し、先ず廣瀬ガバナー、北村担当カウンセラー、作山クラブ奉仕委員長の挨拶がありました。その内容は今年度のクラブ奉仕は会員増強を中心に活動していくとの一致した話でした。10時過ぎ、基調講演「RIの現状と会員増強」の演題にてRI理事の小沢一彦氏の話がありました。小沢氏は所属する横須賀RCの会長在任中、21名の増強を達成した実績をお持ちの方で、増強の心構えと実践、そしてRI理事としての貴重な体験を通しての話をされました。

その中の幾つかを挙げますと、会員数は、毎年約5%の減少というのが現実であり、常に増強が必要であるとの事でした。また、増強に際してはローターで育てた財団奨学生、GSE、青少年交換等の若者を入会させなさいとの事です。そして、増強において職業分類がしっかりしたクラブはクラブ運営が上手くいっている。また、横須賀RCの会長在任中は、新会員と毎週例会後約1時間、10回位ローターに関する話はせず、世間話等をして親睦を図ったそうです。その中で、常に入会した以上は早く自分の居場所を作るよう言ったそうです。その時の会員が現在クラブの中心になっているとの事です。

その後の質疑応答では、日立RC会長から日本の会員が減った理由についての質問がありました。

1. 会員の高齢化が進んでおり、会員の年齢は50歳以上が80%を占め世代交代の時期を迎えている。
2. 世界と日本のローターに対する価値観の違いがある。

全部で約1時間30分の講演となり、その後昼食をはさみ午後の部に入りました。

1時より「増強の実例」との内容にてのパネルディスカッションが開始され、土浦南RC、北茨城RC、かすみがうらRCの会長と作山委員長がパネリストとなり、作山委員長の司会で進められました。因みに土浦南RCは7名の増強、北茨城RCは2年連続で2名、3名計5名の純増、かすみがうらRCは13名の会員より4名の増強で、それぞれのクラブの実例を挙げての発表がありました。どのクラブにおいても危機感を感じての増強ということです。また、委員長を始めとして3会長の一一致した話は、増強するには地域に対しローターを良く知って頂く事であり、そのためには広報活動が一番大切との話でした。続いて2時過ぎより会場を移動しての分区単位のグループディスカッションに入り、「増強・情報・会務の具体例と案」の内容にて分区単位そしてクラブ役職単位で、1グループ6~10人に別れて行いました。7分区においては、司会者の指名により順次、各クラブの発表がありましたが、増強に関してはどのクラブも同じような悩み、そして苦労があるようでした。3時より再度全体会の行われた会場に移り、クラブ奉仕の各委員長報告があり、作山組織委員長からは、再度今年は会員増強に力を入れて活動していくの方針が示されました。また、クラブにおいても会員増強を柱に活動して欲しいとの話がありました。その後、佐藤 衛研修リーダーの総評では、クラブにおいて中・長期的に増強を考えて欲しいとの事でした。井上研修サプリーダー・直前ガバナーの所感では、8月は「会員増強・拡大月間」であり、中でも増強に力を入れて欲しい、またクラブにあった増強活動を、そして増強は永遠のテーマであるという事でした。そして、3時40分ガバナーの点鐘にて閉会しましたが、今回の研究会は増強に始まり増強で終わった長い一日でした。

THE WEEKLY REPORT

新世代奉仕研究会 染谷秀雄委員長



7月19日(土)、つくば市の市民ホールつくばにて行われた新世代奉仕研究会に参加して来ました。

開会セレモニーのあと、高萩ロータリークラブの作山吉永氏による「新世代奉仕について」と題した講演を聴きました。そのなかで、青少年育成プログラムは事業を行う事で満足するのではなく、その先、青少年達にどのような人間になってほしいのかという明確な目標をもって事業を行わないと、ロータリーの自己満足で終わってしまうと言っておられました。続いて分科会に参加をし、事例発表を聞きましたが、クラブによってはスポーツ少年団に対しての支援、

交換学生と子供達との交流と言ったように、身近なところでの事業が多いのかなという印象でした。ただ、残念だったのは分科会のときには、多くのクラブが帰ってしまい人数も少なく、また、事例発表もふたつのクラブだけで意見交換もないまま終わってしまいました。私も他のクラブの事業を参考に新しい事業が出来るかと思っていましたので、もう少し意見交換をする場が欲しいと感じました。

出席報告 (橋本忠昭委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
50名	41名	9名	0名	2名	86.00%

ニコニコボックス(横山 修SAA)

入金計 ¥61,000 累計 ¥431,000

交換学生としてお世話になります。3名の交換学生より
暑中お見舞い申し上げます。交換学生の皆さん、元気で出発してください。 秋田会員
ツウンバ交換学生、宜しくお願いします。 松崎会員
ツウンバ交換学生がお世話になります。 青木(正)会員
娘が今回お世話になります。 石塚(克)会員
ツウンバ短期研修の皆様、有意義な研修になりますよう。体に気をつけて。 横山会員
8月9日からツウンバへ行く皆さん、楽しんで来てください。 染谷(正)会員
常総市長選挙、無事終了しました。 白井会員
例会欠席しました。 鈴木(勝)・古矢・染谷(秀)・染谷(昭) 各会員

会報委員会 青木正弘委員長 須藤義定副委員長

グラフで見るロータリアン数の変遷

世界のロータリアン数は・・・、日本のロータリアン数は・・・、どのように変化しているのでしょうか。グラフで、その変遷をご紹介します。

(ロータリージャパンのロータリー関連資料の中のグラフで見るロータリアン数の変遷をクリックしますと大きい画像で見られます)

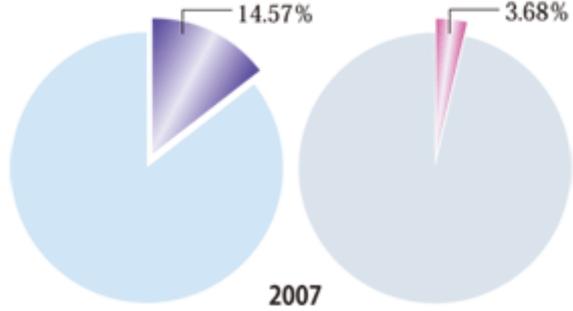
THE WEEKLY REPORT

会員数別クラブの比率

ゾーン別2007年
地区別2007, 1997, 1987年



世界と日本 女性会員の割合



クリックすると、過去10年分のグラフをご覧になれます。

